

県高校総体・監督・第二顧問用

大会参加の監督用チェックリスト（共通事項 R3. 5. 21）

学校

部

	✓				
事前	事後	監督等チェックする項目	令和3年	月	日（ ）
		1 検温・健康観察について ○会場に入る直前に、監督または第二顧問等が選手等の検温を行い、複数の目で点検し発熱者がいないこと、体調不良者がいないことをきちんと確認し、その結果を受付に報告してから入場させている。第二顧問が配置されていない場合は、大会役員に依頼して点検している。 ※発熱(37℃以上)や体調不良となっている選手等がいた場合は帰宅させ受診を促すこと。			
		2 保護者との連携について ○選手等の自宅での検温、体調確認等について、大会2週間前から確実に行われているか健康チェックシートによって確認している。また、家庭内で体調不良者がいる場合は報告するよう求めている。			
		3 マスクの着用について ○選手等に対し、試合のインプレー中以外は、ウイルスの遮断に効果があるとされている不織布マスクを常時着用するよう指導している。特に、試合中の作戦タイム中・試合終了直後の着用を徹底させている。			
		4 選手や試合場等の消毒について ○選手等に対し、試合前後の手洗いまたは手指の消毒を徹底するよう指導している。 ○チームで使用している共用のボールや用具等、多くの選手等が手を触れる物について、選手等に定期的に消毒をするよう指導している。 ○選手等に対し、試合中や試合終了後等、試合場やベンチ等の消毒やモップ掛けを徹底するよう指導している。			
		5 試合中の行動や発声について ○選手等に対し、円陣を組んでの鼓舞や、得点時のハイタッチ・ハグ等をしないよう指導している。 ○選手等に対し、試合の展開に不必要な大声での発声等をしないよう指導している。			
		6 応援について ○選手等に対し、応援は拍手のみとし、声援は行わないよう指導している。			
		7 飲料やタオル等について ○選手等に対し飲料ボトル・コップやタオルの共用等をしないよう指導している。			
		8 飲食について ○選手等に対し、飲食する場合は、手洗いまたは手指の消毒を行うとともに、マスクを外して会話をしないことや十分な間隔をとって同じ方向を向くことについて徹底するよう指導している。			
		9 更衣室等の利用について ○選手等に、更衣室、ロッカールーム等の共用エリアを使用させる場合、短時間の利用とし、一斉の利用は避け、時間差利用を行うこと、使用時には、着替えの際もマスクを着用し、身体的距離を確保すること、会話をしないことを指導している。			
		10 控室等の利用について ○選手等に、控室等で待機する際は、マスクを着用し、身体的距離を確保して会話をしないことを指導している。 ○選手等に対し、各チームで控室としてテント等を張って利用する場合には、他チームとの間隔を空け、換気やマスク着用を徹底し、利用人数を制限するよう指導している。			
		11 ゴミ処理について ○チーム内で出たゴミをまとめて持ち帰るゴミ袋を準備している。 ※ゴミは持ち帰り、密封して各チームで処分する。			

※上記のほか、大会主催者(高体連・中体連・高野連・県スポーツ協会・各競技専門部・各競技団体)のガイドラインの内容を必ず確認して大会に臨むこと。